

体験型観光と地域ブランドづくり

長野県・南信州観光公社他

経済建設常任委員会



恵庭市の子育て施策を研修

義をよく理解し、楽しみながら活動し、支援体制をうまく活用して大きな広がりを見せている。

また、担当職員の使命感と熱意を持って取り組み姿に、人材の重要性も感じるところであった。

調査の目的

大山町の地域資源を有機的に活用し、「大山の恵みの里構想」を具現化していくため、体験型観光、地域ブランドづくりの先進事例を調査研究する。

調査の概要

①伊賀の里モクモク手づくりファーム

手づくりハム他、米、野菜、イチゴなど、安心安全な農産物の生産と、体験型農業の先進地として全国に知られる。年間売上38億円。農畜産加工場、レストラン、宿泊施設もあり、施設内でも様々な体験メニューが楽しめる。他、通信販売も行なっている。

②(株)南信州観光公社

体験型観光による広域地域振興を目的とする第3セクター。手間ひまをかけ、地域との信頼関係を作りな

- 調査地
- ①三重県伊賀市「伊賀の里モクモク手づくりファーム」
 - ②長野県飯田市「(株)南信州観光公社」
 - ③滋賀県長浜市「長浜黒壁スクエア」
- 調査日
7月4日～6日



そば打ち体験を「体験」

まとめ

先進地で感じられるのは、明確なコンセプトや「こだわり」があるということ。

「こだわり」の為に努力し、「顧客」に対しても安易に妥協しない。そうした誠実さ、姿勢が、「顧客」に伝わることで根強いリピーターを増やしている。

そういった取り組みを行なうのも「人」、取り組みをまとめリードしていくのも「人」。

地域資源は他地域に決して見劣りしない本町にとつて、「大山の恵みの里」を如何に具体化していくかは、正しく「人づくり」に掛かっている。

おめでとうございます

自治功労者として6人が受賞を

平成19年9月5日、町村議会議員として永年在職し、功労のあつた5人の議員と事務局職員1人が、鳥取県西部町村議会議長会から表彰されました。

- (議会議員として18年以上在職)
野口俊明
- (議会議員として11年以上在職)
岡田聡、小原力三、足立敏雄、諸遊瑛司(事務局職員として7年以上在職)
小谷正寿



足立議員 野口議員 諸遊議員 岡田議員 小谷前局長 小原議員